

ゆり地域支援だより

令和2年11月16日発行 第3号 秋田県立ゆり支援学校 地域支援部



学校で学ぶことは

ゆり支援学校 教頭 佐々木義範

「社会には矛盾があふれています。皮肉ではなく、学校はその矛盾を学ぶためには最適の場所です。」これは、前任校の研修会で、元医療少年院院長であった小栗正幸さんがお話しされたことで、私の記憶に強く残っている言葉です。

例えば、学校には「友達と仲良くする」という目標があります。しかし、現実にはけんかや行き違いなどのトラブルがあり、理想通りにはなりません。子どもたちの中には、言葉の意味理解が限定的な特徴がある子や、自己肯定感が低く、失敗を受け止められない子どもがいます。自分の理想通りにならないことに直面しているうちに「僕は、友達ができないからダメな人間だ」だとか「僕を受け入れてくれないみんなは冷たい人間だ」などの考えにとらわれ、登校できなくなったり、友達とのトラブルを頻繁に起こしたりしています。

そのような子どもたちに対して、私たちは「君は嫌われていないよ」「そんなことしたら友達に嫌われるよ」と言うような、ゆがんだ考えに対する直接的な言葉をかけてしまいます。しかし、小栗正幸さんの言うように、学校は矛盾を学ぶところであるすれば、「様々な矛盾を感じ取れる感性があるなんて大人だね」、「いろいろなトラブルはあるけれど、いろいろな人と出会えて君は成長しているね」など「矛盾があることを学び、矛盾を受け入れられるメッセージ」を伝えてあげたいと思っています。

すべての子どもたちが、様々な矛盾に直面しながらも、たくましく成長していくことを願っています。

子どもたちの安全基地になろう

アタッチメントという言葉を知っていますか？これは、心理学用語では「特別な人に示す特別な感情」という意味で、乳幼児が養育者に対して形成する絆のことです。アタッチメントは「目を合わせる」「語りかける」「笑いかける」「ふれあう」などの養育者の行動により形成され、子どもたちが順調に育つためにはとても大切なものです。このアタッチメントは、保護者だけでなく、保育者や教師とも結ぶことが可能です。子どもと養育者がいる場所を「安全基地」と捉えると、これがあるおかげで、子どもは好奇心に向かうスイッチが入り、安心して外の世界へ「探索行動」に出ることができます。この探索行動はすべての学習の基盤となるといわれています。私たちが安全基地になることで、子どもたちの主体的・対話的で深い学びにつなげていきたいものです。



安全基地



探索行動



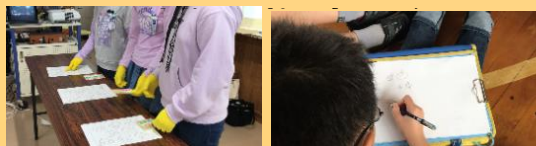
本校の障害理解学習(出前授業)について

ゆり支援学校では、昨年度から地域の小・中学校で障害理解学習の出前授業を行っています。今年度は今まで12の小学校でたくさん子どもたちと一緒に学習を行ってきました。

本校で行う障害理解学習の一貫したテーマは、「心のバリアフリー」です。多様性の時代、大切にしたいのは、障害の有無や性別、年齢、国籍に関わらず、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会を作っていくことです。本校では人権教育の一環として、発達段階に応じた障害理解学習を、子どもたちが楽しく学べるように、工夫しながら実施しています。

体験しよう

- ・「パオパオ王国」という架空の国の王子とコミュニケーションをとる中で、言葉が伝わらない体験をし、どうしたらコミュニケーションがとれるかを考える。
- ・不器用な人のもどかしさを軍手をはめて作業することで体験する。
- ・わかりやすい表現、わかりにくい表現について、絵を描きながら体験する。
- ・みんなで気持ちを合わせて、フラフープやボールを使ったゲームに取り組みます。失敗しても笑い合おう！



何ができるかな？

- ・居住地校交流や学校間交流の際に行う活動、どうすればみんなと一緒に楽しく取り組めるかな？だれも我慢しない、でも少しだけお互いが譲り合っている方法を考えてもらいます。

読み聞かせ

- ・障害そのものをテーマにした絵本だけでなく、多様な人々の立場を想像したり、相手との違いを楽しもうとしたりする絵本や物語を、年齢に応じて読み聞かせます。読み聞かせを聞いた子どもたちからは、色々な感想が寄せられています。



クイズ

- ・これは誰のための工夫かな？
「〇〇があれば、●●ができる」身近な生活の中にある障害をもった人のための工夫や、全ての人に優しいユニバーサルデザインなどを考えます。
- ・バリアフリーって何だろう？
私たちが暮らす社会はまだまだ多数派の人に都合よく作られています。バリアになっているのは何？そして、心のバリアフリーを実現するためのポイントは何？

*上記の主な4つの内容を、本校の紹介を交えながら学習します。今こそ、今だから必要な障害理解学習。詳細はリーフレットにも記載しています。ご希望の際は、本校教頭まで、ご連絡ください。

～どんなことでもご相談ください！～
秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

TEL : 0184-27-2630
E-mail: yuri-s@akita-pref.ed.jp
HP : <http://www.yuri-sakita-pref.ed.jp>